

児童発達支援事業所における保護者評価結果（公表）

公表：令和7年 1月 10日 事業所名 時のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5		・1人以上は常に付いてくれるので安心して預けられる。	・今後も継続して安心して預けられる環境づくりをして参ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5		・お互いに丁寧な話し合いをした上で作成して下さるので、現段階で満足している。	・今後も継続して参ります。
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・毎日違う活動をして下さり、連絡帳にも写真付きで記載しているので親も安心・満足です。	・引き続き保育園や児童館、図書館と連携して参ります。
	⑦	活動プログラム <sup>1)</sup> が固定化しないよう工夫されているか	5			
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		・隣の保育園の子達との関りが楽しみです。	
	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5		・1つつ丁寧の説明して頂き、最後に疑問点がないかも聞いてくれました。	
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5			
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング <sup>2)</sup> 等）が行われているか	5			
保護者への説明等	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5		・朝も子供の状況を話して送り出し、帰りは園での様子を聞かせてもらえるのでお互いに理解し合える環境は整っている。	
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5			
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5		・これから皆さんに会える機会を楽しみにしています。	・機会を作っていきたいと思えます。
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5			
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			
非常時等の対応	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4			
	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			

満足度	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		
	㉕	子どもは通所を楽しみにしているか	4		
	㉖	事業所の支援に満足しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を聞き取り、すぐに対応して下さり大変助かる。</li> <li>・土曜日に開所して頂けるととてもありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も何かあればすぐご連絡ください。</li> <li>・希望が増えてくれば検討したいと思います。</li> </ul>

- i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。
- iii 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。